

白門経友会

新年度が始まって早二ヶ月、多摩キャンパスは花々に囲まれ初夏を迎えています。



本学では昨年と同様に三月二十五日に卒業式を挙行し多くの卒業生を社会に送り出しました。

また四月二日には満開の桜の下で入学式を挙行し経済学部では今年も約一千名の新入生を迎えることが出来ました。

今年の春は肌寒い日もありましたが幸いなことに卒業式、入学式ともに両日ともに好天気でした。

満開だったツツジはすでに終えましたが初夏に向かい色々な花々が咲

き始めキャンパスを一層魅力的にしております。

現在、すでに学内の授業やイベントなども順調に進んでおり、新入生もキャンパスの施設や環境にも慣れ学業に励んでおります。



さて、下段のご案内のように今年も定期総会を開催いたします。

この機会に是非、母校をお訪ね頂き楽しいひと時をお過ごし下さい。学部の後輩に接することにより、今後の皆様の心の支えに成ることを念じております。



第 26 回 白門経友会 定期総会のご案内

- | | |
|---|--|
| 1. 日 時 6 月 11 日（土）午後 2 時開会
（昨年より 6 月第 2 土曜日を定例とさせていただきます） | 4. 記念講演 14：40－16：10
講 師 塩見 英治 教授
演 題 「沖縄経済と国際航空貨物ハブ」 |
| 2. 会 場 中央大学多摩キャンパス
7 号館 1 階 7104 教室 | |
| 3. 定期総会 14：00－14：30
① 平成 27 年度事業報告・決算報告
② 平成 28 年度事業計画・予算案
③ その他 | 5. 懇親会 16：30－18：30
会 場 生協 4F 和おん
会 費 OB(卒業 5 年以上) 10,000 円
OB(卒業 5 年未満) 3,000 円
現役学生 1,000 円 |

・会費は、当日受付にて集金させていただきますのでよろしくお願いいたします。

・役員の方は当日 13：00 より幹事会を開催しますので同時刻までに会場にご参集下さい。

第一号議案 二〇一五年度活動報告

I 会議

一 二〇一五年度定期総会

日時 二〇一五年 (平成二十七年)

六月十三日 (土) 十四時

場所 中央大学多摩キャンパス

七号館七一〇四号室

議案

第一号議案

二〇一四年度活動報告及び決算報告

第二号議案

二〇一五年度活動計画及び予算案

第三号議案

その他報告事項

以上、原案通り可決されました。引き続き、片桐正俊教授により「アベノミクスと税財政改革」という演題で講演して頂きました。

ついで、会場を生協四階「和おん」に移し懇親会を開催いたしました。冒頭では、本学音楽研究会吹奏楽部により金管楽器の五重奏で五曲演奏いただきました。

二 幹事会

① 二〇一五年六月六日 (土)

第二十五回総会の議案を審議、承認。

② 二〇一五年十一月二十八日 (土)

常任幹事会を拡大して諸行事を承認。

三 常任幹事会

① 二〇一五年六月六日 (土)

② 二〇一五年六月十三日 (土)

③ 二〇一五年十月二日 (金)

④ 二〇一五年十月二十六日 (月)

⑤ 二〇一五年十一月二十八日 (土)

⑥ 二〇一六年二月十二日 (金)

⑦ 二〇一六年三月三日 (木)

⑧ 二〇一六年三月二十五日 (金)

II 行事

一 学部授業「キャリアデザイン」への協力

当年度は佐藤文博教授のもと二〇一五年四月から七月までの期間で全十五回のキャリアデザインの授業が行われ白門経友会から高梨明宏常任幹事、齋藤顧問に加えて、外部からの本学のOB並びに有識者により学外授業特別協力者として講義を行っていた。前年度同様、好評を得ました。

二 経和会懇親会に参加

二〇一五年三月三日 (木) に退職される先生方の歓送を含めた経済学部教員の親睦会である経和会懇談会に招待され白門経友会の常任幹事も参加いたしました。ここでは、経友会を代表して齋藤顧問より挨拶していただきました。

III 会報の発行と主要記事

第五十八号

二〇一五年五月二十五日発行

新入生歓迎・第二十五回定期総会案内等

第五十九号

二〇一五年十月十二日発行

定期総会の報告、新企画記事

第六十号

二〇一六年三月十日発行

新会長挨拶、退任、新任教員紹介

IV 学生への呼びかけ

経済学部ゼミナール連合会、キャリアアゲイダンス各ゼミ学生との交流を広げるために常任幹事会、諸行事への参加を呼び掛けました。

第二号議案 二〇一六年度活動計画

I 会議

一 二〇一六年度定期総会

日時 二〇一六年 (平成二十八年)

六月十一日 (土) 十四時

場所 多摩キャンパス

七号館七一〇四教室

総会終了後、記念講演を実施する。

演題「沖縄経済と国際航空貨物ハブ」

講師 塩見英治 教授

二 幹事会

年二回程度開催する。

三 常任幹事会

年十回程度開催する。

II 行事

一 学部授業「キャリアデザイン」への協力

学外および会員からの講師の推薦を経友会として協力支援する。

二 学部行事「キャリアアゲイダンス等」への協力

担当する学生委員会及び学生運営委員会等と連絡を取りつつ全面的に協力する。

三 中央大学「夢」企画における諸活動への支援協力を行う。

四 白門経友会二十六年度を迎え会員同士の親睦を計り教職員及び学生との交流を深める行事を行う。

III 会報発行

会報「白門経友会」を年四回発行する。なお、前年度より原則として紙ベースでの発行を取りやめ、ホームページへの掲載とする。

IV その他

一 白門経友会ホームページの内容の充実化として学生からの投稿を進める

二 多数が参加可能な講演等の開催

三 入会呼びかけの強化

第 1 号議案（2）

2015 年度 決算報告書

自 2015 年 4 月 1 日

至 2016 年 3 月 31 日

収入の部		支出の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
前年度繰越金	380,745	総会費	110,000
会費収入	60,000	会報発行費	10,000
総会費収入	149,000	HP 維持費	27,000
寄付金収入	80,000	交流費	33,024
受取利息	14	振込手数料	648
雑収入			
		小計	180,672
		次年度繰越金	489,087
合 計	669,759	合 計	669,759

次年度繰越金内訳

三井住友銀行八王子支店	普通預金	137,220
ゆうちょ銀行	振替貯金	309,097
ゆうちょ銀行	通常貯金	25,797
	現 金	16,973
合 計		489,087

以上の通りご報告申し上げます。

2016 年 5 月 10 日

会長 篠原 正博 ㊟

幹事長 濱岡 剛 ㊟

監査の結果、いずれも正確かつ妥当であることを認めます。

2016 年 5 月 10 日

監事 倉本 優 ㊟

監事 森元 公和 ㊟

第 2 号議案（2）

2016 年度 予算案

自 2016 年 4 月 1 日

至 2017 年 3 月 31 日

収入の部		支出の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
前年度繰越金	489,087	総会費	120,000
会費収入	200,000	会報発行費	40,000
総会費収入	100,000	HP 維持費	27,000
寄付金収入	80,000	交流費	200,000
受取利息	15	振込手数料	1,000
雑収入		通信費	30,000
		小計	418,000
		次年度繰越金	451,102
合 計	869,102	合 計	869,102

え、あの先生がシリーズ②

経済学部教授 鳥居伸好



一九九八年に経済学部に着任しまして、今年で十九年目になります。中大駿河台校舎の最後の卒業回生で、一学年下の後輩が多摩キャンパスで勉強できることに羨望の念を持っていましたので、九年間勤めてきました横浜国大からの移籍は、母校への復帰というよりも、学生当時あこがれていた多摩キャンパスへの執着によるものであったのかもしれない。

今年度は、学部では「マルクス経済学」と「独占資本主義論」、大学院では「経済システム論」を担当していますが、昨年度(二〇一五年度)は、特別研究の機会を与えていただきました。そして、「グローバル化と地域経済(地域内循環型経済システムの実現可能性の検討)」という研究課題での研究に専念させていただきました。そして、その研究の一環として、ドイツ・バイエルン

州での地域通貨の調査や旧東ドイツ地域でのグローバル企業誘致とその地域経済に及ぼす影響についての調査を実施してきました。そのような地域経済研究は、現代資本主義における経済格差を研究する過程で、経済格差問題への対処方法として、地域経済の活性化に注目したことから派生した取り組みといえますが、私を地域経済研究に向かわせた素地は、学生時代からの「ある趣味」によって形成されたものと思っています。

私の趣味、それは、『男はつらいよ』のロケ地巡りですが、若い学生の皆さんには、『男はつらいよ』そのものの講釈から始めなければならぬのが「つらい」ところです。山田洋次監督・渥美清主演の映画『男はつらいよ』は、『フーテンの寅』こと「車(くるま)寅次郎」役を演じた渥美清さんが亡くなってシリーズ48作で終了しましたが、的屋(てきや)稼業で全国を旅して歩く寅さんの行く先々の風景は、心に沁みる風景として脳裏に焼き付いて、私をロケ地巡りへと駆り立てています。その映画「寅さん」と私との出会いは、小学生時代の田舎の村祭り、神社の境内で催されました星空の下

での映画上映会でした。二、三本上映されます映画のうち、必ず一本は『男はつらいよ』が入っていましたので、子供の頃からなにげなく「寅さん」を観ていました。ただ、その映画に興味を持ち始めたのは、東京に出てきてからになります。学生時代によく通った映画館の三本立映画の中に、やはり「寅さん」映画が入っていたのです。六畳一間のアパート暮らしで、テレビのない学生の楽しみは、映画鑑賞とラジオ番組くらいでしたが、当時ラジオでも『男はつらいよ』の映画をそのまま流す番組がありまして、音で聞く映画のシーンを、想像力を膨らませて楽しんでいた記憶があります。しかし、ラジオですと、寅さんが旅する地方のきれいな風景まで想像することが難しく、映画館でその景色に出会えた時の感動が、ロケ地に行ってみたくてという衝動をかき立てたのだと思います。

学生時代には、春・秋の白門祭の期間を利用して、北は北海道の知床や奥尻島、南は沖縄までロケ地巡りの旅に出ることがありました。就職してからは、地方での学会開催を利用して、その近くにあるロケ地巡りを試みていますが、東京でも地方で

も、「寅さん」映画から醸し出される人情味ある商店街が廃れつつある現状を目の当たりにすることが多くなりまして、その問題関心が、今の研究につながっているのかもしれない。そのことを考えますと、私の研究は、まさに趣味と実益のコラボレーションといっても過言ではありません。

編集後記

今年も定期総会の案内させていただきました。この機会に「中央大学経済学部の卒業生、教員職員、学部学生という三者の間の交流を活性化し、絆を形成することを通じて中央大学の発展に寄与する」という本会の目的を改めて確認し、この会を発展させていきたいと考えております。皆様のご協力をお願いいたします。

(幹事長 濱岡 剛)

2016 年 5 月 15 日 第 61 号

発行 白門経友会常任幹事会

編集 白門経友会編集委員会

〒192-0393

東京都八王子市東中野 742-1

中央大学経済学部内

URL : www.wg-keiyukai.com

Fax : 042-673-3425